





国土交通省・JR東海の動向

■ 昭和48年 基本計画線に決定

- ・起終点：東京都～大阪市
- ・主要な経過地：甲府市附近、名古屋市附近、**奈良市**附近

■ 昭和49年～平成20年10年 地形・地質等調査の実施

■ 平成22年2月24日〈諮問事項〉「営業主体及び建設主体の指名並びに整備計画の決定」

■ 平成23年5月12日〈答申〉 JR東海を営業、建設主体として指名

■ 平成23年5月26日整備計画の内容決定

- ・主要な経過地：甲府市附近、赤石山脈中南部、名古屋市附近、**奈良市**附近

■ 平成23年5月27日国はJR東海に対して、建設の指示



県内の取り組み

■昭和54年4月

- ・中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会設立(平成元年4月リニア中央エクスプレス建設促進奈良県期成同盟会に名称変更。)

■昭和54年11月

- ・沿線8都府県からなる中央新幹線建設促進期成同盟会が設立(昭和63年8月 リニア中央エクスプレス建設促進期成同盟会に名称変更)

■平成元年12月

- ・「リニア中央新幹線の建設促進と奈良市に停車駅を設置する」という県議決と同内容を奈良市議会にて議決。

■平成2年4月27日～5月13日

- ・「奈良リニアエクスプレス展」 奈良市鴻ノ池運動公園

■以降、県内期成同盟会にて一体的に活動

「奈良リニアエクスプレス展」 平成2年4月27日～5月13日

場所：奈良市鴻ノ池運動公園

主催：奈良県、奈良市、奈良商工会議所、東海旅客鉄道（株）





県内の取り組み

【奈良市議会決議】

リニア中央新幹線の建設促進・奈良市停車駅設置
及びヘリポート誘致に関する決議（案）

全国新幹線鉄道整備法に基づき基本計画が決定し、昭和48年11月15日告示されている中央新幹線は、東海道新幹線の災害時における代替路線として、また多極分散型国土を形成する上からも、極めて重要な路線である。

奈良市にとっては、国の内外に開かれた国際文化観光都市として、また関西文化学術研究都市としてさらなる発展を期す上でぜひ必要な高速鉄道であることより、奈良市議会はリニアモーターカー方式による中央新幹線の早期実現及び奈良市内の停車駅設置並びに高速交通体系の基幹施設となるヘリポートを市内の適地に誘致するため、市民とともども総力を挙げて国等関係機関に要請するなどその実現に努力する。

以上、決議する。

平成元年12月18日

奈良市議会

【奈良県議会決議】

リニア中央新幹線の建設促進と
奈良駅設置に関する決議

全国新幹線鉄道整備法に基づき基本計画が決定し、昭和四十八年十一月十五日告示されている中央新幹線は、東海道新幹線の災害時における代替路線として、また、多極分散型国土を形成するうえからも、極めて重要な路線である。

この中央新幹線の早期着工について、基本計画のルート関係八都府県とその実現方について、今日まで努力してきた結果、山梨県内において実験線の建設決定をみたところである。

奈良県においては、国の内外に開かれた国際文化観光平和県として発展を期すうえで是非必要な高速鉄道であることより、奈良県議会は、リニアモーターカー方式による奈良市経由の中央新幹線の早期実現と奈良市にこれの停車駅が設けられるよう、県民をはじめ県内各界各層及びリニア中央エクスプレス建設促進奈良県期成同盟会とともに、総力を挙げて国等関係機関に要請するなどその実現に努力する。

以上、決議する。

平成元年十二月六日

奈良県議会



ルートイメージ

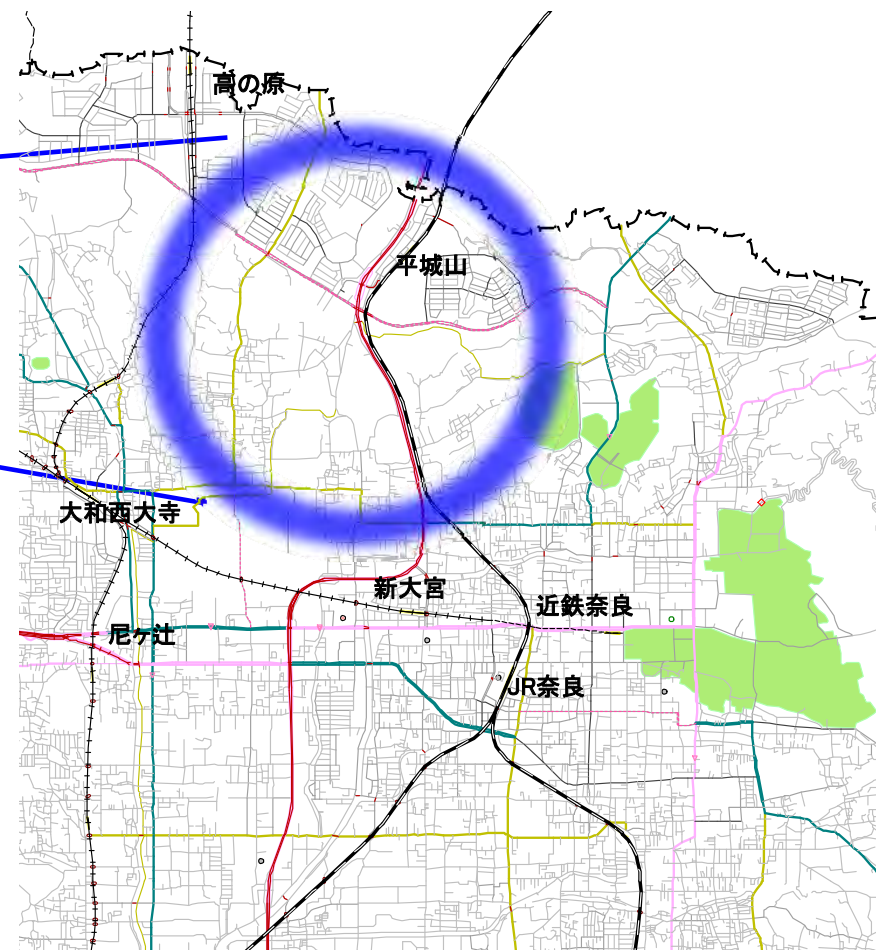
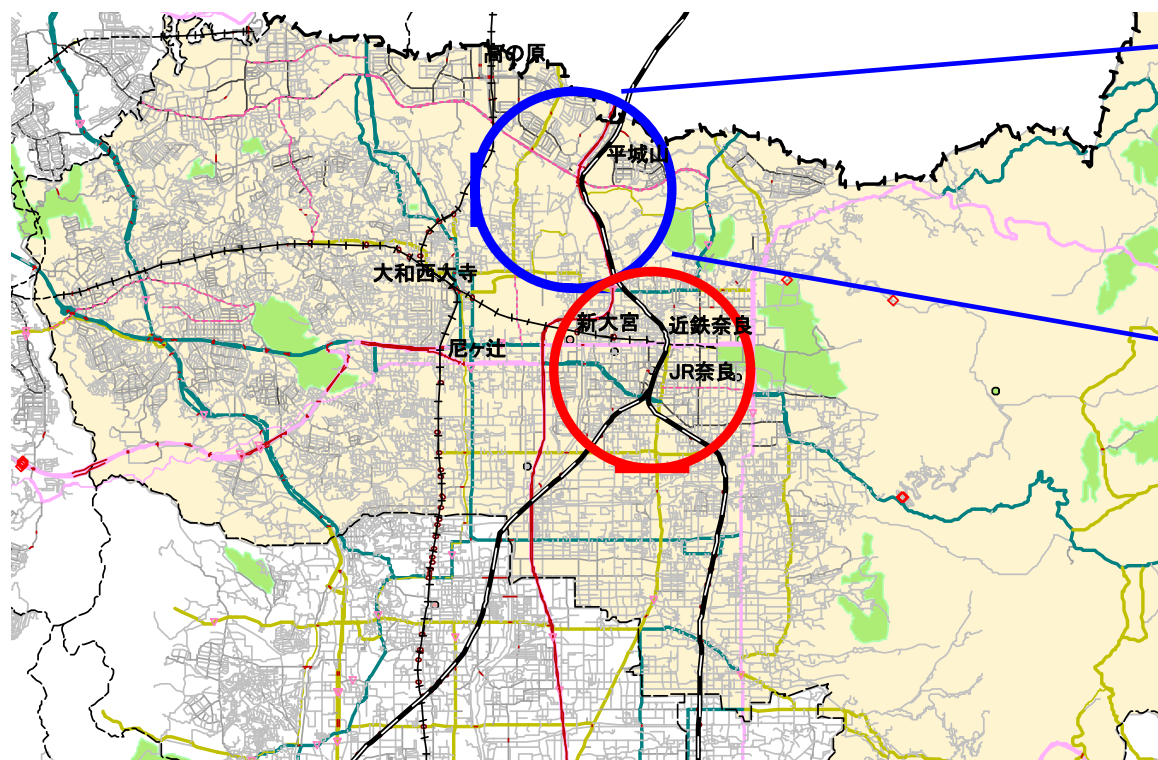


奈良県資料より

東京～奈良
60分

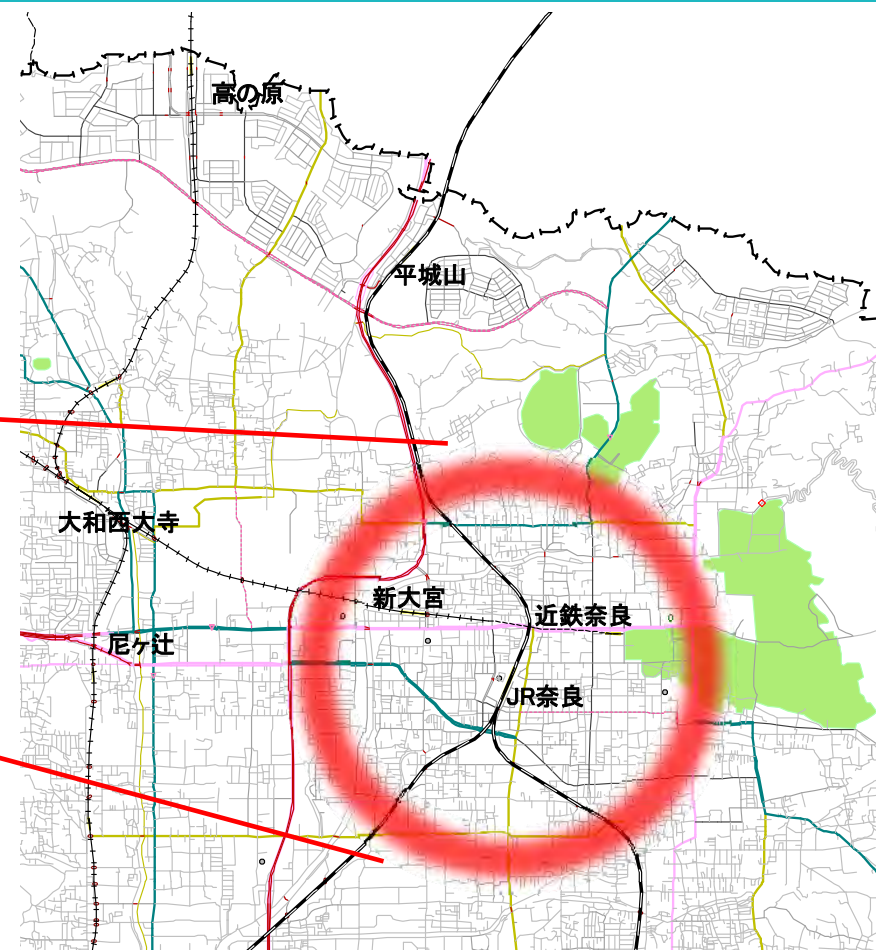
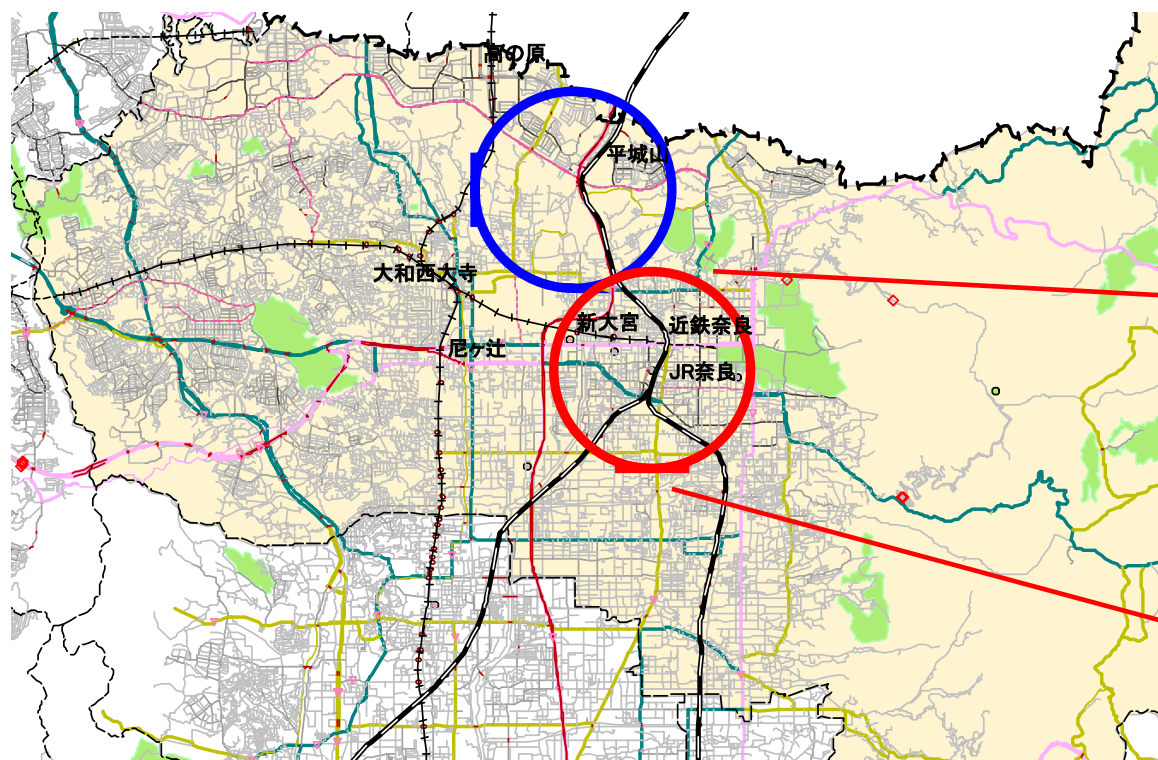


駅候補検討地 A (郊外型)





駅候補検討地B（市街地型）





リニア開業の期待効果

三大都市圏から
アクセス向上

首都圏からは
200分⇒60分

観光交流人口の増加

定住人口の増加

産業活性・企業誘致の促進

研究機関の集積



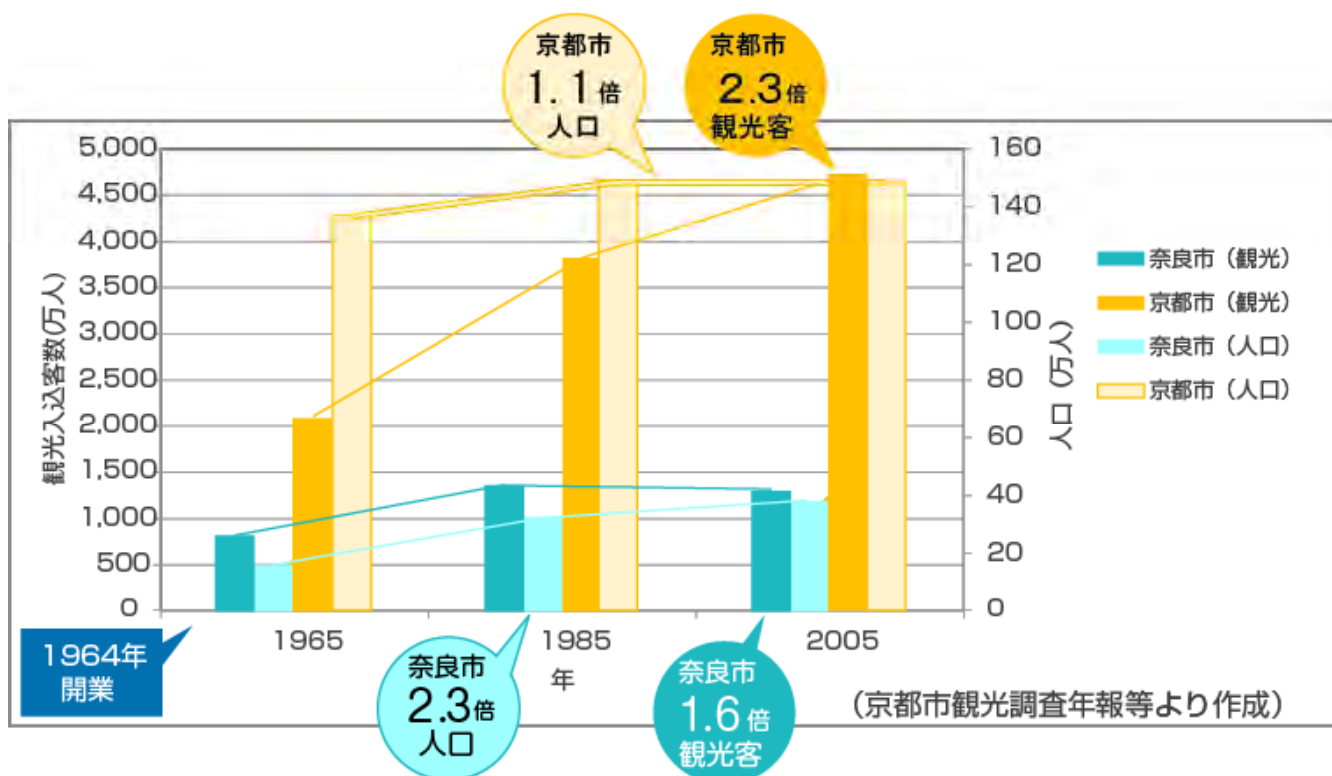
奈良市

新幹線開業が地域にもたらした効果

○ 京都市の場合（1964年10月 東海道新幹線開業）

京都市観光入込客数は、**1960年代は2000万人規模**であったが、1964年の東海道新幹線開業後着実に増加し、近年は5000万人規模に達している。

他方、**京都市の人口は40年間で約1.1倍に増加**した。（奈良市の人口は40年間で約2.3倍に増加。）



新幹線の開業効果は（定住）人口よりも、観光入込客数（交流人口）で大きい。



リニア新幹線開業による観光入込客数の伸びを、長期的に維持・増加させていくため、県内自治体が一体となって取り組む必要がある。

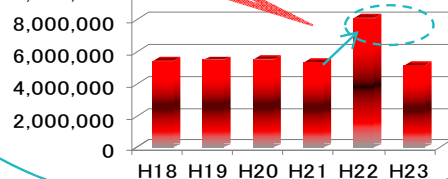


奈良市を起点とした観光

平城遷都1300年祭によって奈良県各エリアの観光客数が増加！

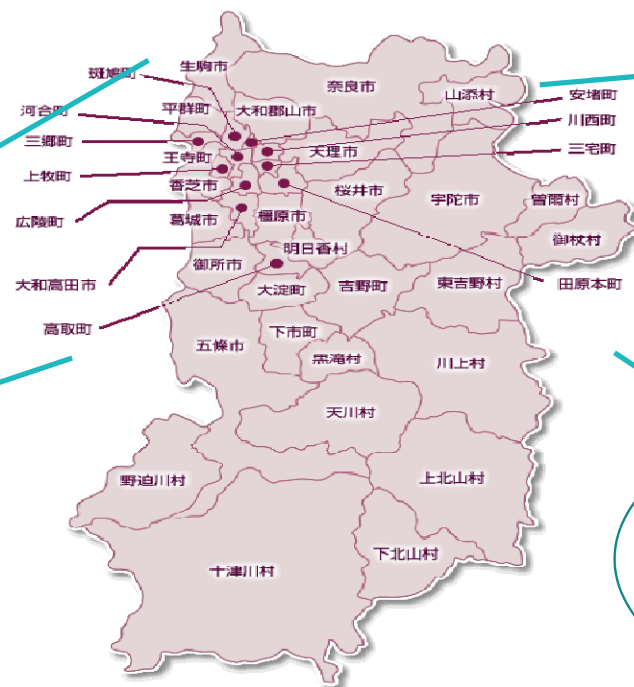
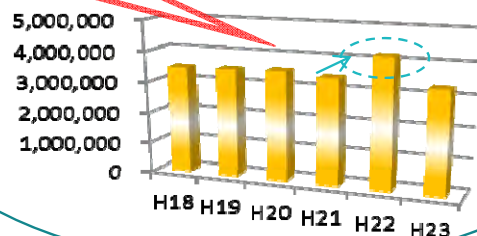
約279万人増

奈良県西部



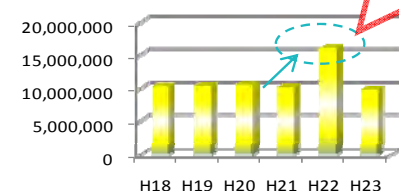
約75万人増

奈良県南部



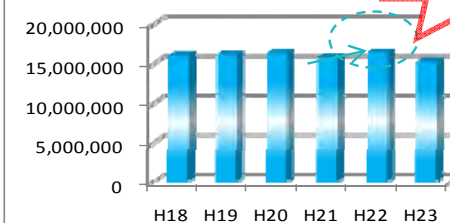
約584万人増

奈良県北部



約66万人増

奈良県東部



県内需要増加額
＋約330億円

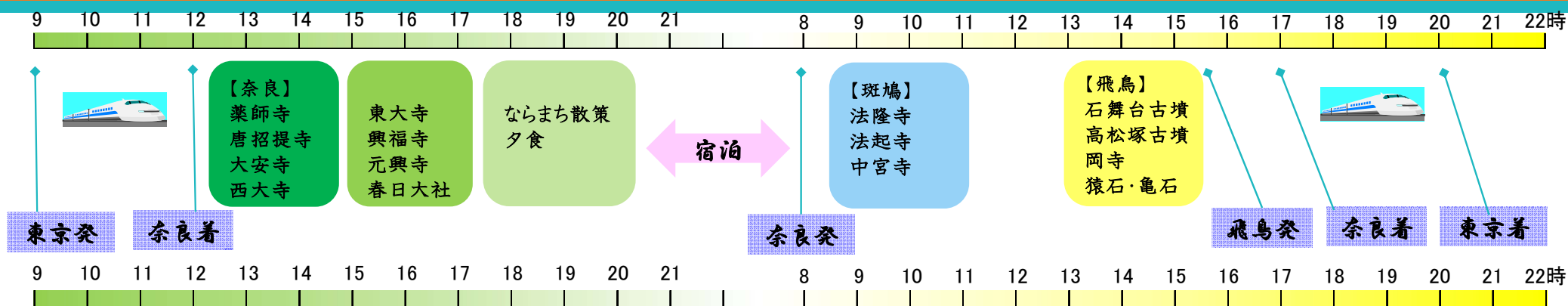
県全体で観光客数
約1,000万人増加

生産誘発額（県内）
県内需要増加額含む
＋約490億円

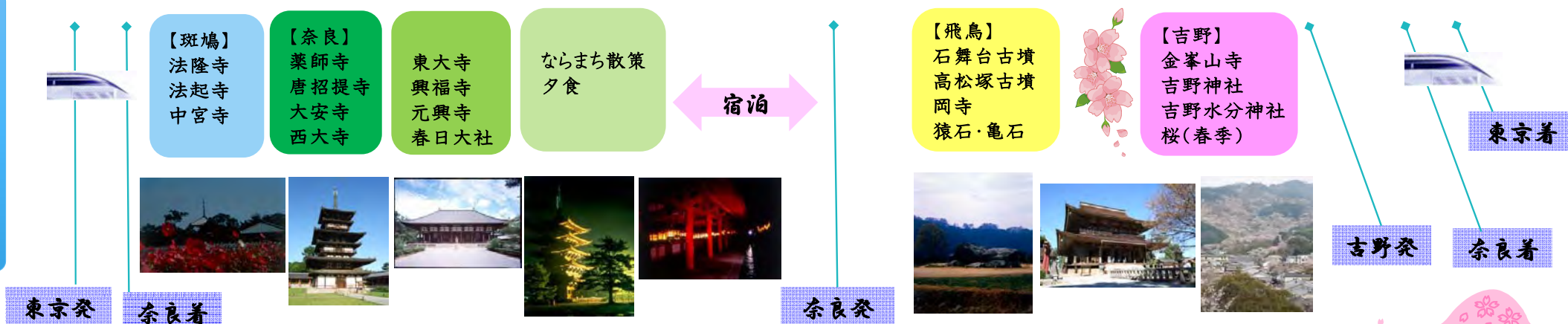


首都圏からの観光プラン

従来の新幹線プラン



新リニアプラン



リニア開業により、今まで1泊2日では回れなかった吉野方面への観光も可能に！

→ 奈良市を観光の玄関口として、奈良県南部の魅力を再発見！



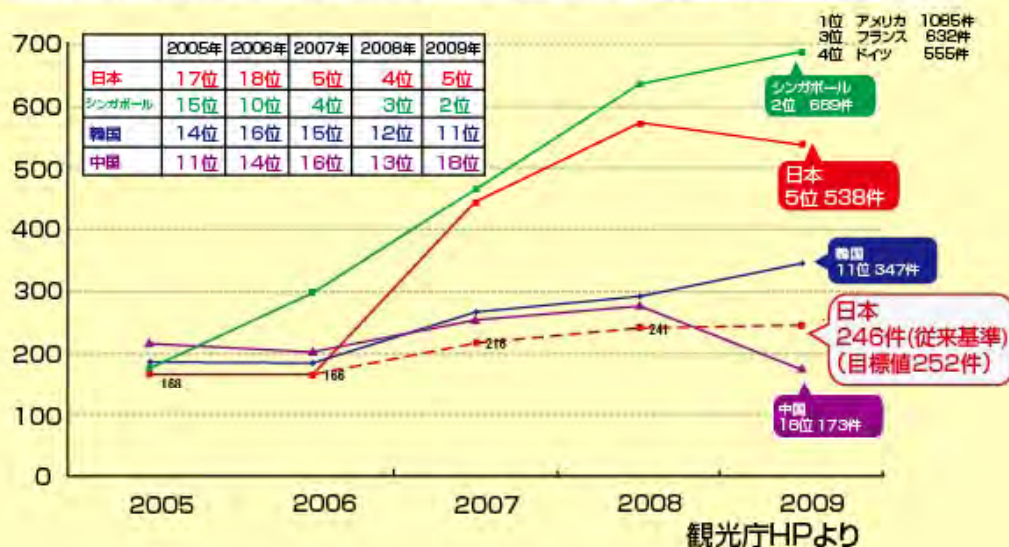


MICE誘致の強化

「観光立国推進基本計画」（平成19年6月29日閣議決定）において、
「アジアにおける最大の開催国を目指す」と記載され、
 MICE誘致は**国家的命題**。今後市場拡大も期待でき、他国と競い合って
 MICE誘致を実現していく必要がある。

国際会議の開催件数の推移

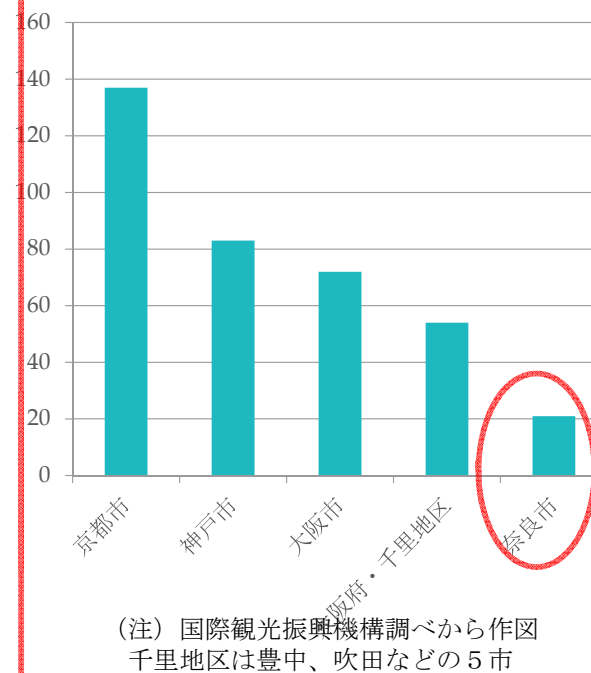
※2011年までに、主要な国際会議の開催件数を5割増（2005年の168件を2011年には252件）を目指す。
 （観光立国推進基本計画に定められた目標値）
 ※2007年UIAが従来の基準を緩和したことにより国際会議の開催件数は増加している。



奈良市は国際会議が
少ない

市内中心部で大規模
プロジェクトが進展

関西所要都市の国際会議 開催件数（2011年）



奈良市中心部に100億円投資へ
 「天平」テーマに再開発
 県、滞在型都市めざす



(資料) リニア中央新幹線ルート概念図
は「リニア中央新幹線建設促進期成同盟
会」HP資料による

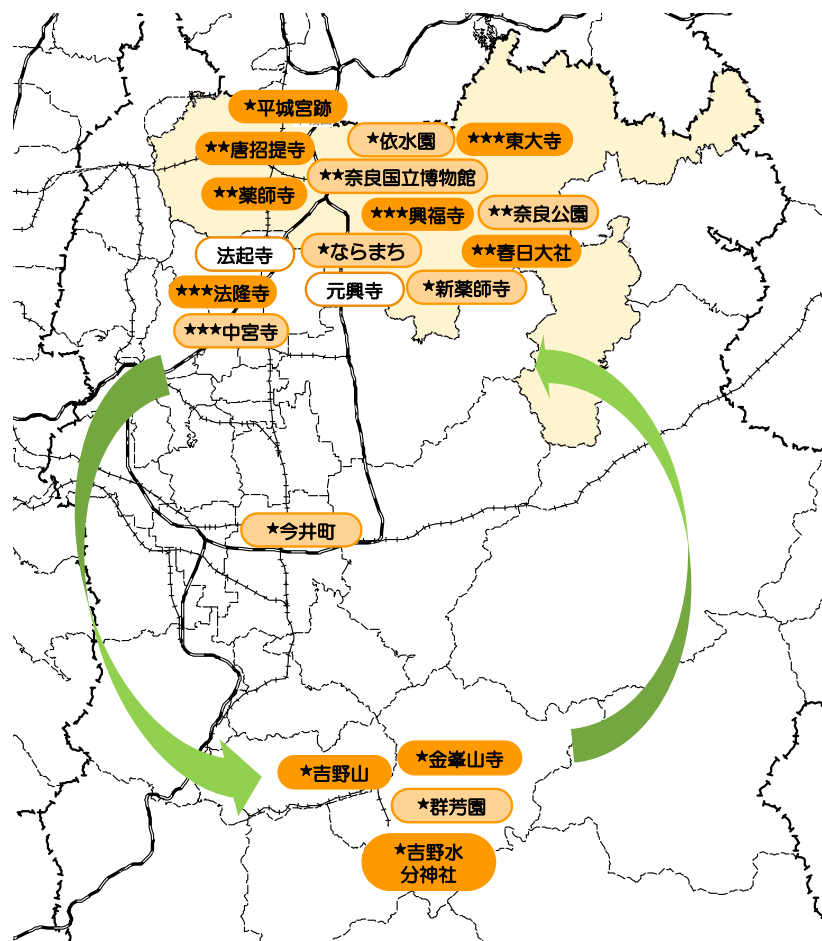


国際文化観光都市奈良市

世界から注目される観光資源を活用して海外から誘客！

**Michelin Green
Guide Japon**

※ミシュランガイドより抜粋



世界遺産

【凡例】



Michelin+世界遺産



Michelin



世界遺産

今後に向けたリニア推進体制

